

ひよびの

医療

一瀬晃洋医師



しわ、たるみ、薄毛など、皮膚や髪の変容は、容貌に關連するため精神的な負担になりがちだ。兵庫県内の医療の最前線に迫る連載の第41回シリーズは、皮膚や髪の変容を取り上げる。

■ 1泊2日の入院

主治医の「瀬晃洋診療科長(48)によると「頬のたるみは『アルドック様変形』とも呼ばれ、筋肉や皮膚が主に重力によって垂れ下がるのだと長年考えられてきた」。だが近年になって「加齢により顔の骨がやせるのも原因と分かった」。骨が10%やせると覆っている筋肉や皮膚が余り、たるんでしまう。目の下の涙袋が膨らんで見える症状も、周囲の骨がやせるために起きる。

同年8月、渡辺さんはまず1泊2日の入院で、念願だったフェースリフト手術を受けた。両耳の前側、顔との境目に沿ってメスを入れ、たるんだ頬を引っ張り上げるのだが、ただ引っ張るだけではきれいになるみを取る、ことができないという。顔の骨と筋肉

フェースリフトの手術前(上)と手術後。たるみがなくなり、すっきりした印象に(いずれも一瀬医師提供)

フェースリフトの手術前(上)と手術後。たるみがなくなり、すっきりした印象に(いずれも一瀬医師提供)

■ 手術以外の治療法 ■

加齢により顔面の組織、特に骨が大幅にやせ、それによってくぼみや溝(しわ、たるみ)が目立つようになることが分かっている。その部分に薬剤などを注入する治療が複数あり、主流はヒアルロン酸だが、注入の仕方、製品により仕上がりの差が大きい。顔の表情筋の動きをコントロールするボツリヌス毒素注射も一般的だが、いずれも日本で承認されている製品はごくわずか。治療が難しい傷を治すために作られた線維芽細胞成長因子という薬を注入する治療や、自分の皮膚を培養して移植する再生治療も一部で行われているが、治療法がまだ確立されず、しこりが残った例なども報告されていて、注意が必要だ。

■ 美容医療の費用 ■

公的医療保険が適用されないのですべて自費。渡辺さんが受けた治療はフェースリフト手術が約100万円(入院費込み)、眉毛下皮膚切除術が約30万円。ヒアルロン酸注入は1本(1cc)約5万~7万円のヒアルロン酸製剤を数本使用し、計約30万円。トータルで約160万円かかった。一瀬さんは「車を1台買ったときにかかる費用よりは安い」と説明する。今後は年に1本程度のヒアルロン酸注入で維持する。

顔の骨がやせるのも原因

手術、薬剤など治療多様

く外出できるようにになった。

■ 目元も明るく

翌年、渡辺さんはまぶたのたるみ改善のため、眉毛下皮膚切除術を受けた。眉毛の下に生え際に沿ってメスを入れ、たるんだ皮膚を幅約1センチ取り、目頭にたまつてい

「一瀬さんは「健康寿命が延び、元気で長生きしたい人が増えている。美容医療は気持ちに張りを与え、人生に前向きになる手助けをしてくれる」と話す。



ヒアルロン酸注入前(上)と注入後。涙袋が膨らんだように見えていたが、境目がなくなった

ようなもので「つり上げたい部分にあるじん帯を切り離してからでないと、骨にくっついていないためすぐに後戻りしてしまう」と一瀬さん。「顔全体は静脈麻酔で眠っている間に約2時間で終わる。術後すぐに鏡を見て、たるみがきれいに取れているのが分かった。本当にうれしかった」と渡辺さん。切った箇所は腫れは1週間ほどで引き、程な

後すぐに鏡を見て、たるみがきれいに取れているのが分かった。本当にうれしかった」と渡辺さん。切った箇所は腫れは1週間ほどで引き、程な

◆電子版「神戸新聞NEXT」に特集ページ。

シリーズ41

皮膚や髪の変容①

しわ・たるみ